福井市文化会館を考えるワークショップかわら版

season2 yarossa! やろっさ！

平成29年4月12日(水)、福井市役所にて「第1回福井市文化会館を考えるワークショップ season 2」を開催しました。今回が初参加の方、season 1より引き続き参加の方を合わせて、12名の方にご参加いただきました。

まずは一人ずつの自己紹介からスタート。その後は簡単なワークショップのやり方の説明を聞いて、早速手を動かしていきます。

今回のテーマは「文化会館の目指す方向性と機能について」。機能ってなに?方向性とは?と、難しいテーマになかなか手が動かない初参加の皆さん。そこをすかさず継続参加の皆さんがサポートしてくれました。そしてだんだんと文化会館に必要な機能や欲しいもの、ことが付箋に書かれて貼られていきます。発表者には初参加の方もいらっしゃいました。

さて、どんな意見が出てきたのでしょうか?

↓まずは初参加の人も継続の人も関係なく、意見をどんどん書いています。
まとめの作業に入ると、なにを発表しよう？と会場は一段とにぎやかに。

第１回ワークショップテーマ

『文化会館の目指す方向性と機能について①』

意見のまとめ

ハード面の提案 ソフト面の提案	さくら チーム	チューリップ チーム	たんぽぽ チーム
鑑賞機能	・客席と舞台が一体となった空間（ブラックボックス） ・市外、県外からも利用したいホール ・中規模の大きすぎないホール ・外にも積極的に出向く企画をやる場	・ミュージカルやオペラができるホール ・大 / 中 / 小のホール　・演奏できるホワイエ ・稽古場にも使える舞台 ・発表の場にもなる練習室	・100 ～ 200 人くらいの小ホール ・安く借りられるホール ・いろんな施設をかためる ・まちの中につくる　・見る側の育成
交流機能	・バリアフリー　・調理室で食に関する WS ・公園と一体的に利用できる、図書館つき ・リタイアした人が活躍できる場 ・子どもが自由に発想できる場	・語れるたまり場　・打上げの場所 ・ミニコンサートができる場 ・文化団体の交流・他市他町の発表会を実施 ・ワインを飲みながら演奏を聴く	・足湯　・団塊世代のたまり場 ・お茶のみ場 ・イベントがなくても行くと楽しい場 ・テーマをきめた交流会
創造機能	・24 時間利用できる個室の練習室 ・アトリエ、作業場 ・展示しやすい場 ・いつ行っても体験できる場	・創造を支援するスタッフ ・脚本コンテストの実施 ・様々な WS 実施 ・行政の中に文化芸術の専門家を育てる	・良質な照明、音響 ・フィルム上映　・芸術監督をおく ・色々相談できるコンシェルジュの配置 ・運営スタッフの育成　・演劇学校
継承機能	・企画立案をできる専門人材 ・おでかけ文化会館 ・地域文化や伝統楽器の伝承の場 ・国際交流	・人間力のある番頭 ・子どもへの WS ・福井弁をひろめる ・語り部隊をつくる　・お客を育てる	・いこさ寄席　・劇団民藝 ・アソシエイトカンパニーの設立 ・週がわりオーナー制 ・連合音楽会
情報機能	・ライブ、コンサートなど公演の情報が集まってくる場 ・WEB ページの充実	・友の会　・メールで発信 ・発信力 ・月例会の実施 ・自主公演	・図書、カンファレンス ・地域の演芸雑誌等のアーカイブ ・最新情報の発信 ・広報、告知のバックアップ
集客機能	・気軽に飲食できる場所 ・会館の周りに、余韻を楽しむスペース ・駅から徒歩で行ける ・駐車場がタダ	・お酒が飲める場 ・水辺をつくる ・魅力あるカフェをつくる ・24 時間あいている	・レストランやカフェがある ・図書館　・人がいつもいる場所 ・定期公演を月１回必ずやる ・飲食イベント（テーマ型）

今回は基本構想で定められた文化会館の方向性に基づいて、各々の機能にはどんなもの、どんなことが必要かを探っていきました。建物に関わるところから事業についてまで、幅広く、ユニークな意見が出てきています。では、それを実現するためには、どんな建物が必要でしょうか？

というわけで、次回のテーマは引き続き「文化会館の目指す方向性と機能について②」。今回より具体的に、求める機能に必要な部屋はどんな部屋？それはいくつ必要で、どのくらいの広さが欲しい？といった議論をしていただきます。

次回も驚くようなアイディア、期待しています！

次回予告

第２回ワークショップ
日　時：**平成 29 年 5 月 18 日 (木) 19 時～ 21 時**
場　所：福井市役所
テーマ：
「文化会館の目指す方向性と機能について②」

お問合せ

〒910－8511
福井市大手３丁目 10 番１号
福井市役所　商工労働部 観光文化局
文化振興課
TEL　：0776-20-5367
FAX　：0776-20-5670
E-mail：b-shinkou@city.fukui.lg.jp

なんでもアンケートより

音響と照明には、演劇や落語やクラシック（音楽）に使用するため力を入れてほしい。文化を支援できるソフト事業があるといいな。

多分野の方々のお話を聞いて、色々と気づくことがありました。このような声を拾っていくことが重要だと思います。

箱も大事ですが、「人」が一番大事だと思います。見る人はどうやって育つのでしょうか。

熱い！あまり知らない分野の話が聞けた。

たまには土曜日に３時間とかの日もあってもよいかな。

数十年経過しても、市民が誇れる施設になってほしいです。

たくさんのご意見、どうもありがとうございました！

発行／福井市商工労働部観光文化局　文化振興課　　編集／株式会社シアターワークショップ